

**TAKEUCHI**



**2013年2月期  
決算説明資料**

2013年4月24日

「世界初から世界の **TAKEUCHI** へ」

**株式会社 竹内製作所**

**証券コード:6432**

- ▶ **I. 13年2月期 決算概要**
- ▶ **II. 14年2月期 見通し**
- ▶ **III. 今後の市場見通しと重点取組み**

## ▶▶ ポイント

### (1) 需要は米国では増加、欧州は減少

- 米国の販売台数は5.8%増(対前期比)
- 連結売上高は2.3%増(対前期比)

### (2) 原価低減や円安により売上総利益率が改善し増益

- 売上総利益率は1ポイント改善(対前期比)
- 営業利益は4.0%増益(対前期比)

## ▶▶ 連結実績

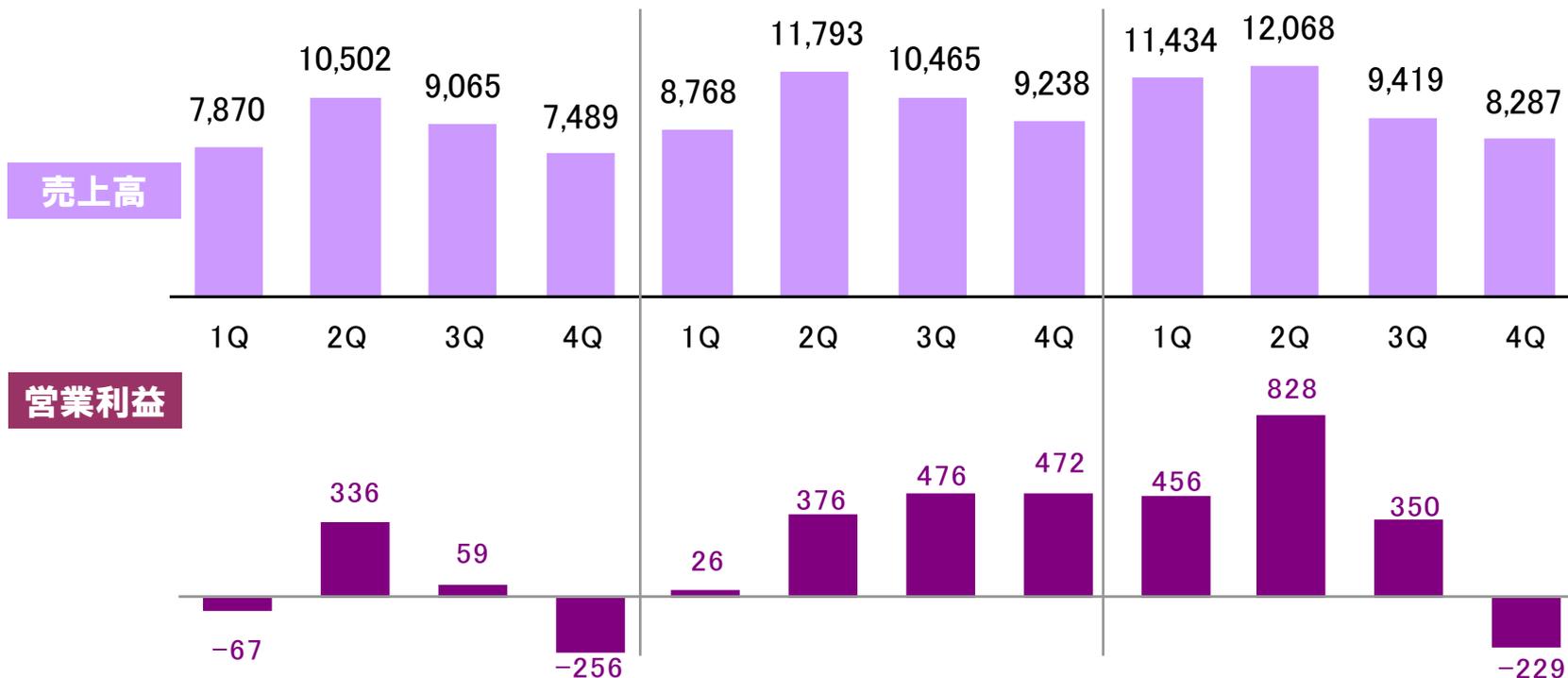
単位：百万円

	13/2期 実績	12/2期 実績	対前期 伸び率	13/2期 修正予想*	対修正予想 増減額
売上高	<b>41,208</b>	40,265	+2.3%	40,500	+708
営業利益	<b>1,405</b>	1,351	+4.0%	1,550	△145
経常利益	<b>2,905</b>	916	+217.0%	2,270	+635
当期利益	<b>3,322</b>	440	+655.0%	1,940	+1,382
設備投資額	<b>428</b>	286	+49.7%		
減価償却費	<b>649</b>	710	△8.6%		
受注高	<b>39,013</b>	44,701	△12.7%		
受注残高	<b>8,836</b>	11,031	△19.9%		

\*：2013/1/11に修正

## ▶▶ 四半期毎の売上高・営業利益推移

単位：百万円、%



為替レート	2011年2月期				2012年2月期				2013年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
円／米ドル	90.75	91.29	85.03	82.22	82.33	81.23	77.08	78.04	81.34	78.86	78.64	86.36
円／英ポンド	140.52	136.37	132.92	128.91	131.81	133.47	124.09	122.58	129.97	122.64	125.56	137.98
円／ユーロ	123.71	114.83	111.45	110.39	113.77	118.29	108.74	105.06	108.56	97.42	100.75	118.33
円／人民元	13.29	13.39	12.58	12.35	12.52	12.52	12.05	12.31	12.66	12.65	12.32	13.30

## ▶▶ 地域別売上高

単位：百万円

	13/2期		12/2期		対前期 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
日 本	2,119	5.1%	1,529	3.8%	+590
北 米	13,625	33.1%	12,038	29.9%	+1,587
欧 州	21,539	52.3%	22,408	55.7%	▲869
ア ジ ア	2,456	6.0%	3,227	8.0%	▲771
そ の 他	1,470	3.6%	1,060	2.6%	+410
<b>売 上 高</b>	<b>41,208</b>	<b>100.0%</b>	<b>40,265</b>	<b>100.0%</b>	<b>+943</b>
海 外 売 上 高	39,089	94.9%	38,736	96.2%	+353

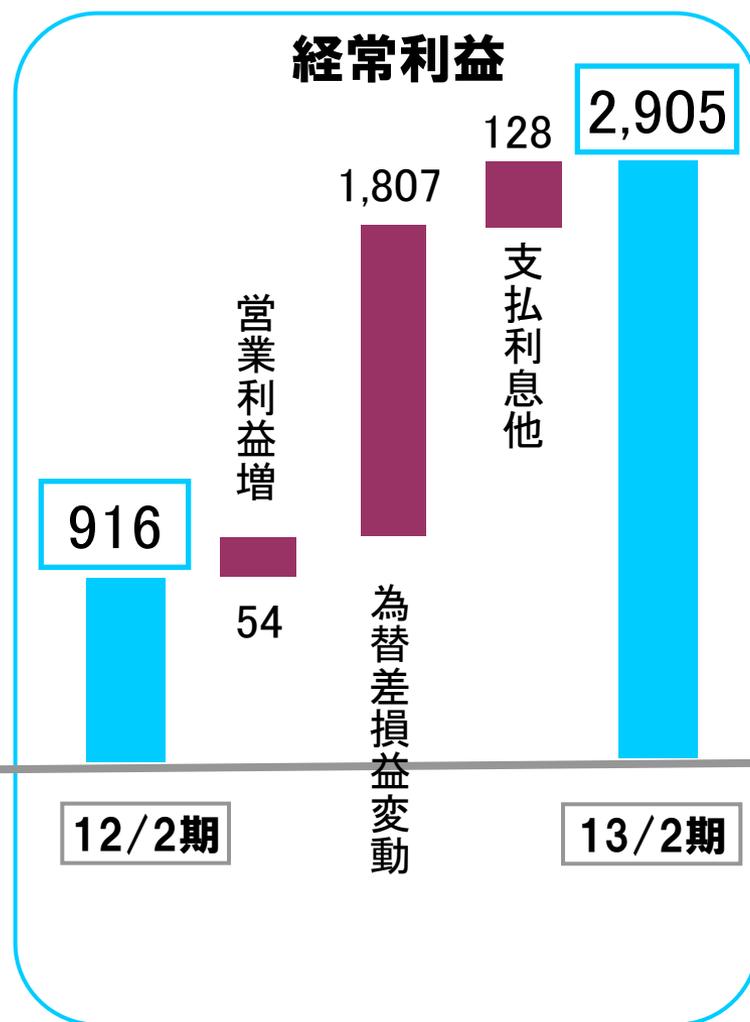
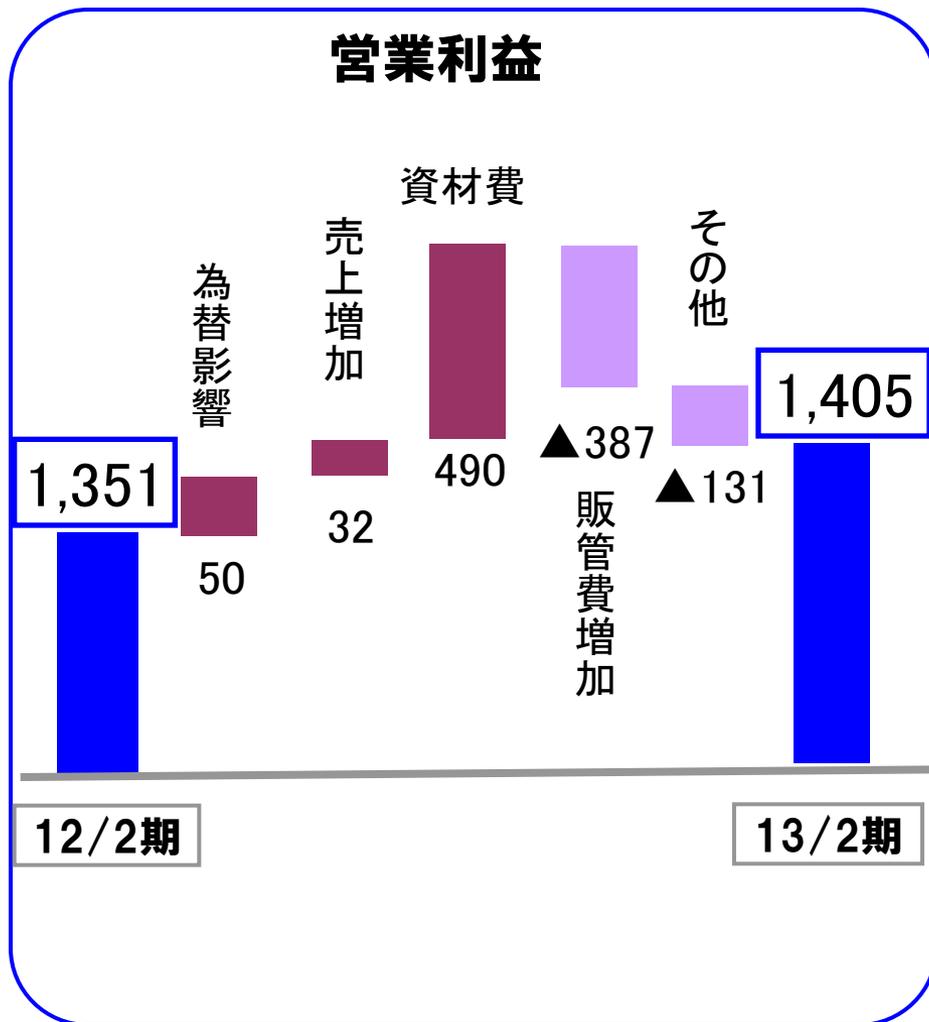
## ▶▶ 所在地別セグメント情報

単位:百万円

		13/2期	12/2期	対前期 増減額
日 本	売 上 高	18,878	19,553	▲674
	セグメント利益	2,207	1,199	+1,007
米 国	売 上 高	13,669	11,649	+2,020
	セグメント利益	662	801	▲138
英 国	売 上 高	4,123	3,104	+1,018
	セグメント利益	152	102	+49
フランス	売 上 高	2,142	2,793	▲651
	セグメント利益	▲30	227	▲258
中 国	売 上 高	2,393	3,163	▲769
	セグメント利益	▲463	▲152	▲310

## ▶▶ 連結損益増減要因

単位：百万円



## ▶▶ 連結貸借対照表

単位:百万円

	13/2月末	構成比	12/2月末	構成比	増減額
流動資産	43,027	84.3%	39,110	83.9%	+3,916
現金及び預金	3,800		7,155		▲3,355
受取手形及び売掛金	24,061		20,570		+3,491
たな卸資産	14,675		11,076		+3,599
固定資産	8,024	15.7%	7,522	16.1%	+501
資産合計	51,051	100.0%	46,633	100.0%	+4,418
流動負債	19,836	38.9%	19,684	42.2%	+152
支払手形及び買掛金	16,031		15,364		+666
短期借入金(1年内長期含む)	1,609		2,633		▲1,024
固定負債	659	1.3%	508	1.1%	+150
負債合計	20,496	40.1%	20,192	43.3%	+303
純資産合計	30,554	59.9%	26,440	56.7%	+4,114
負債純資産合計	51,051	100.0%	46,633	100.0%	+4,418

## ▶▶ 連結キャッシュフロー計算書

単位:百万円

	13/2期	12/2期	増減額
営業キャッシュフロー	▲2,252	▲2,880	627
投資キャッシュフロー	▲303	▲234	▲68
財務キャッシュフロー	▲1,142	1,530	▲2,673
現金及び同等物に係る換算差額	328	▲475	804
現金及び同等物の増減額	▲3,370	▲2,060	▲1,310
現金及び同等物の期末残高	3,287	6,657	▲3,370

### ▶▶ 業績見通しのポイント

#### (1) 需要動向

- 米国市場は住宅投資が改善基調にあり需要は増加
- 欧州市場は債務問題の緊張は和らぎつつも、問題の本質改善には至らず、需要は横ばい
- 新興国市場は一部地域で増加するものの、概ね横ばい

#### (2) 販売台数の見通し

- 販売台数は7.5%増
- 連結売上高は13.6%増(対前期比)

#### (3) 利益見通し

- 売上増加、円安効果などで粗利益率は0.9ポイント向上
- 営業利益は86.4%増益の予想

## II. 14年2月期の見通しについて

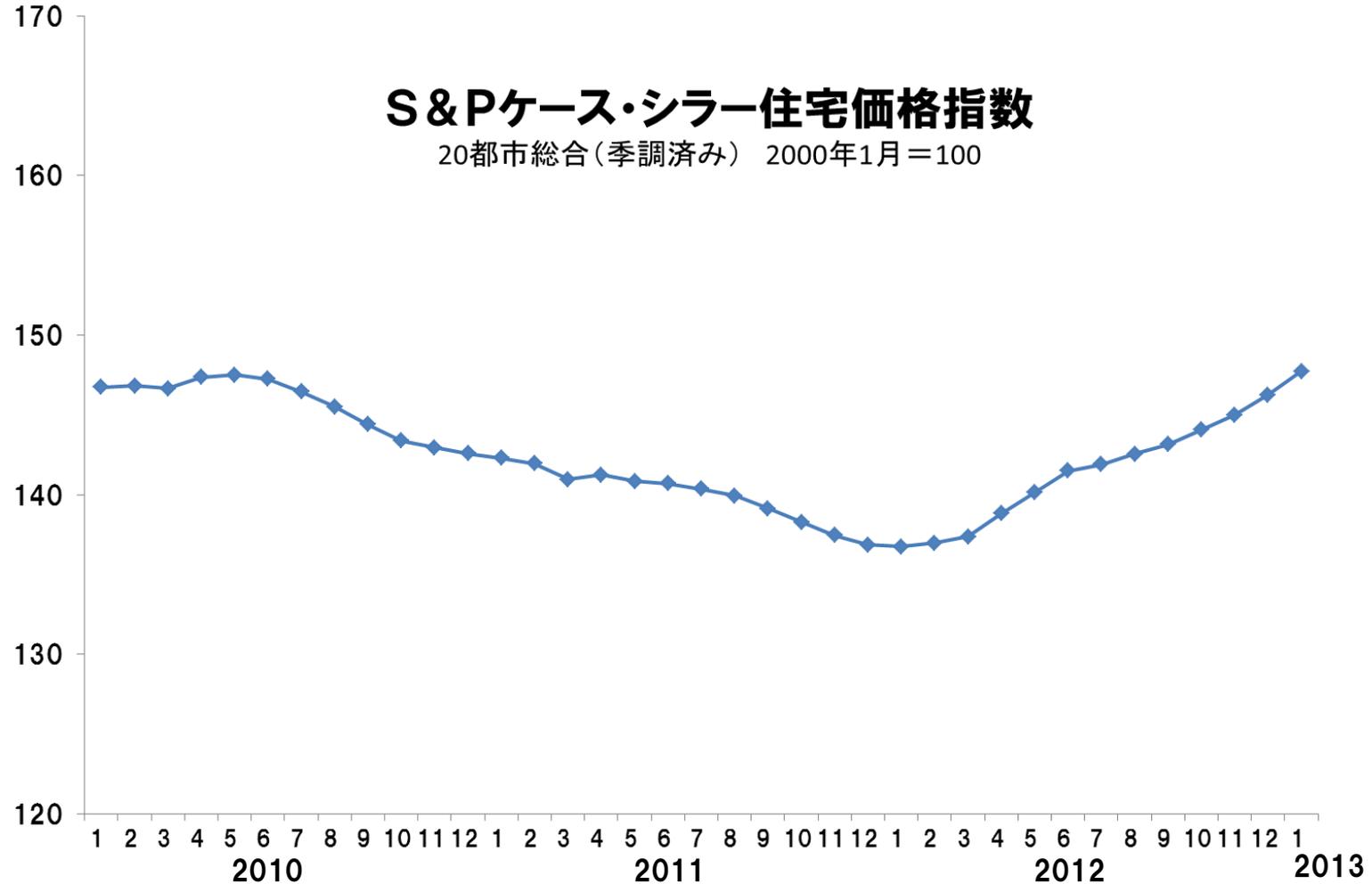
### ▶▶ 連結業績

単位：百万円

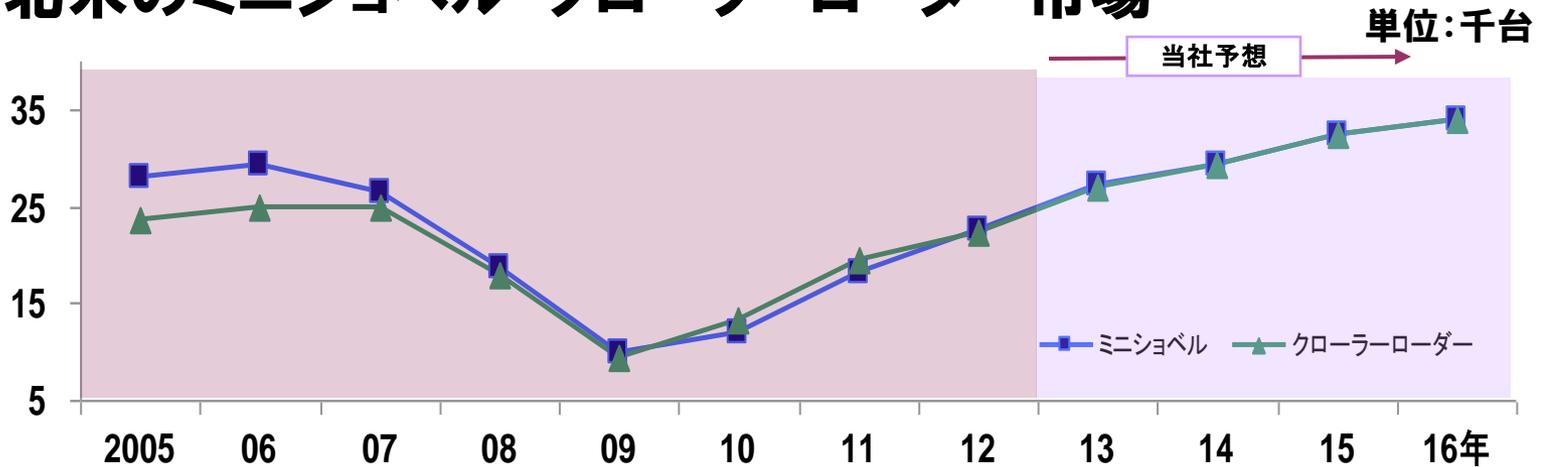
	14/2期予想			13/2期	
	通期予想	前年同期比 増減率	上期予想	下期予想	実績
売上高	46,800	+13.6%	25,100	21,700	41,208
営業利益	2,620	+86.4%	1,210	1,410	1,405
経常利益	3,000	+3.3%	1,590	1,410	2,905
当期利益	2,130	▲35.9%	1,360	770	3,322
設備投資額	480	+11.9%	170	310	428
減価償却費	808	+24.4%	376	432	649

為替レート	14/2期予想	13/2期実績
円／米ドル	90.0	81.03
円／英ポンド	140.0	129.04
円／ユーロ	120.0	104.88
円／人民元	14.7	12.73

## ▶▶ 改善傾向続く米国の住宅投資環境

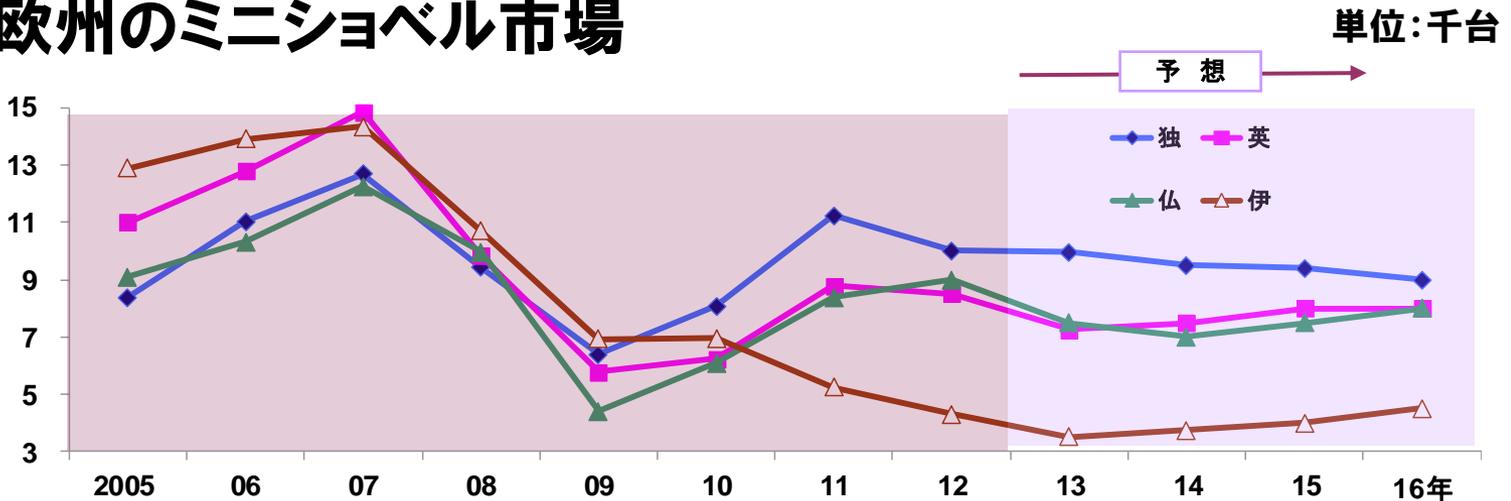


## ▶▶ 北米のミニショベル・クローラーローダー市場



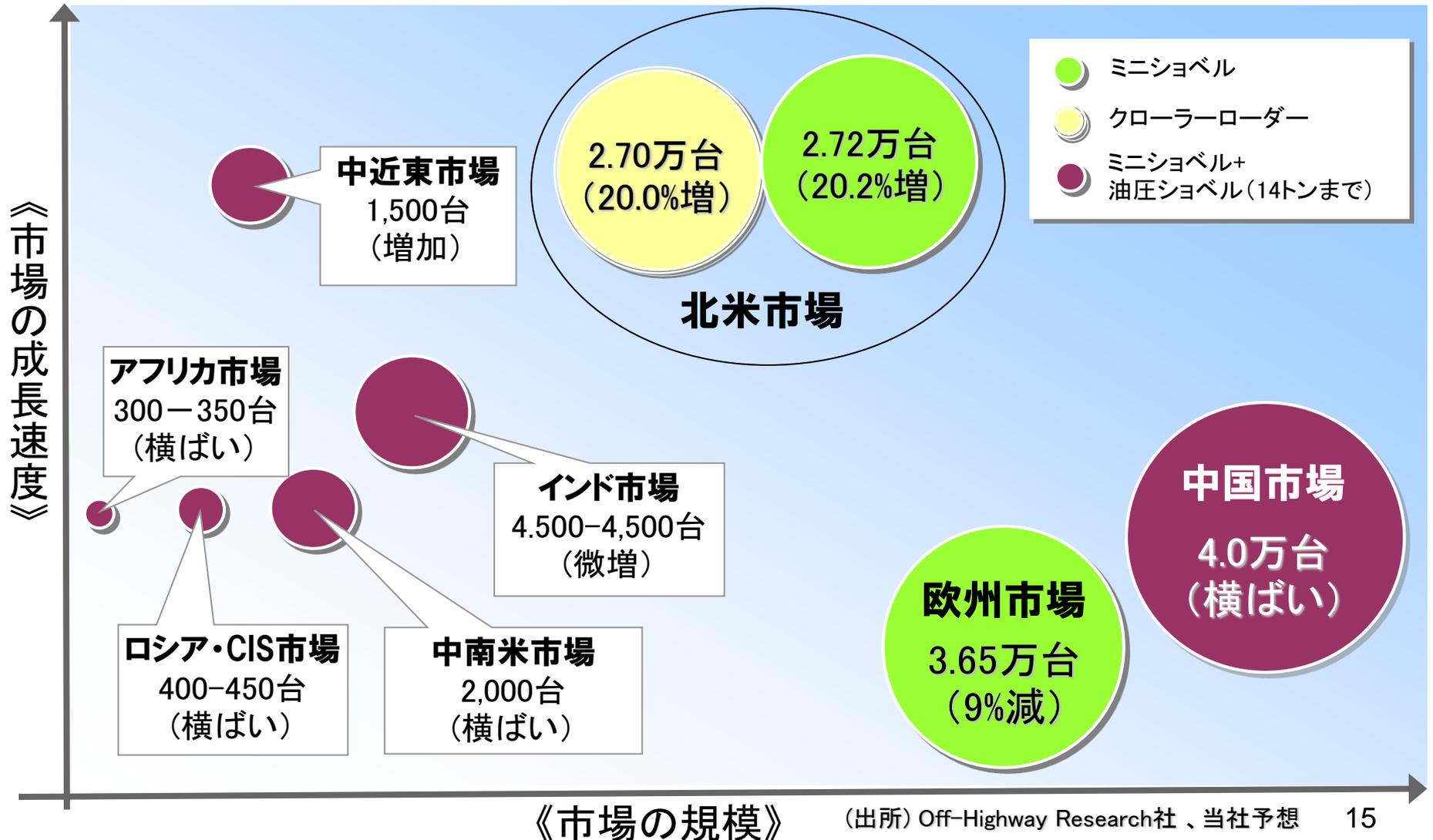
(出所)実績はOff-Highway Research社でミニショベルは12年、クローラーローダーは11年まで。予想は当社。

## ▶▶ 欧州のミニショベル市場



(出所) )実績、予想ともOff-Highway Research社。

## ▶▶ 2013年の市場見通し概観 (カッコ内は前年比伸び率)



## 1. 開発戦略

- 新機種の開発、モデルチェンジ
- 出力帯別の規制に合わせた第4次排気ガス規制対応



新機種  
TB215R



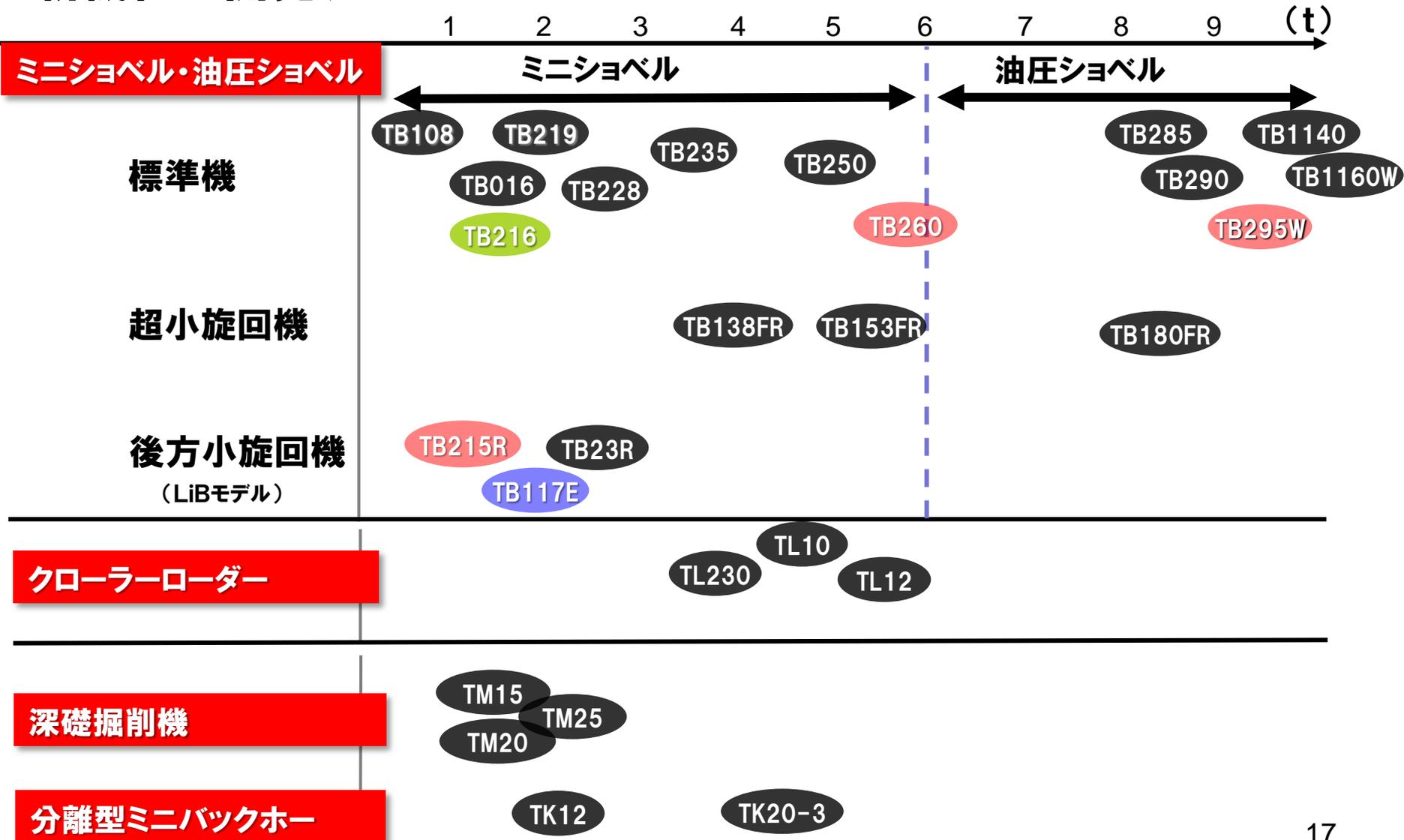
新機種  
TB260



新機種  
TB295W

# III. 今後の市場見通しと重点取組み

## 新機種の開発、モデルチェンジ



## 2. 販売戦略

### (1) 先進国市場対応

- ・製品ラインアップの強化とディーラー網の拡充

### (2) 新興国市場開拓

- ① 商社との業務提携
- ② 重点地域(東南アジア、ロシア、ラテンアメリカ)
- ③ 低コスト機の投入(中国現地法人の最大活用)

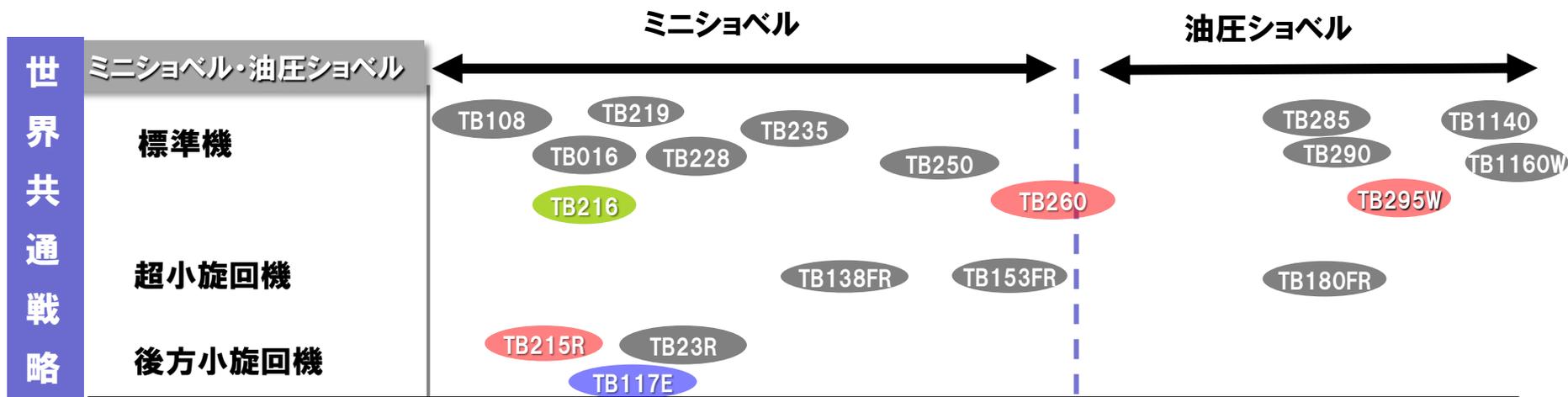
### (3) 補修部品の販売強化

- ・第2純正部品の拡大など補修部品の販売強化

# Ⅲ. 今後の市場見通しと重点取組み

## (1) 先進国販売戦略(米国)

- ① 製品ラインアップの拡充
- ② ディーラー網の拡充



## スキッド・ステア・ローダー

### TSシリーズ

- ・米国竹内は、テレックス・コンストラクション社とタケウチブランドで8機種のスキッド・ステア・ローダーの新規受給契約を締結。
- ・米国市場でクローラーローダーと市場を2分するスキッド・ステア・ローダーをラインアップに加えることで、商品レンジを包括的に補完させ、米国市場でのプレゼンスを向上させる。

バーティカルリフト機



TS70V

ラジアルリフト機



TS70R

# III. 今後の市場見通しと重点取組み

## 3. コスト低減

### (1) クローラーローダーを米国でセミノックダウン生産

- 2013年秋より米国子会社で順次生産開始
- 仕様の多様化による顧客ニーズへの対応強化

### (2) 部材の海外調達等によるコスト低減

- 部材の海外調達
- 中国工場の活用

### (3) 物流費の削減

- コンテナ詰めでの社内対応(2013年2月末は43%)
- 国内物流の見直し



クローラーローダー



竹内工程機械(青島)有限公司



社内でのコンテナ詰め 21

## 4. 業務変革

- 業務の標準化とIT化による効率向上

## お問い合わせ先

株式会社 竹内製作所  
総務部

TEL:0268-81-1100

FAX:0268-81-1127

E-mail: [ir@takeuchi-mfg.com](mailto:ir@takeuchi-mfg.com)

本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、為替レートの変動等、多分に不確定要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。